

ブラジル知的財産ニュース（月報）

Vol. 73（2022年11月分）

2022年12月6日発行

日付	2022年11月1日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁（INPI）	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	http://revistas.inpi.gov.br/rpi/			
タイトル	産業財産官報第 2,704 号通告セクションの要旨			
要約	産業財産官報（RPI）第 2,704 号の通告セクションへの公示はなし。			

日付	2022年11月1日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁（INPI）	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias%202022/inpi-concede-ig-para-vinhos-do-vale-do-sao-francisco			
タイトル	INPI、Vale do São Francisco のワインに地理的表示を付与			
要約	<p>ブラジル産業財産庁（INPI）は、サンフランシスコ渓谷地方の高級ワイン、貴腐ワイン、自然派スパークリングワイン、スパークリングモスカテルに対し、原産地表示（IP）としての地理的表示「Vale do São Francisco」を認定した。2022年11月1日付の産業財産官報（RPI）第 2,704 号に掲載されたもの。ペルナンブコ州のラゴア・グランデ、ペトロリーナ、サンタ・マリア・ダ・ボア・ヴィスタ市、及びバイーア州のカサ・ノヴァ、クラサーの各市を対象とする。INPI に提出された文書によると、この対象地域では 1960 年代より灌漑農業生産の組織化が始まり、それを現在の生産の起源としていることが確認できる。灌漑によって、それまで生産に適していないとされていた土地がサンフランシスコ川のほとりに広がる緑地となった。このような経緯で、世界的に見ても独特な特徴を持つブドウの産地となったという。ワイン用の商業的なブドウ栽培は、ワインメーカー自身のプロジェクトや地域外からの投資によって、1970～1980 年代にかけて始まった。そして、1980 年代からトロピカルワインの商品化が始まったという。現在ほとんどの生産者は、自社のワイナリーでワインを作っている。また、INPI に提出された書類には、同地域におけるブドウ栽培について、少なくとも 15 年以上にわたって行なわれてきた膨大な量の研究を証明する学術研究も含まれている。今回の付与により、ブラジルでは 105 件の地理的表示が INPI に登録され、そのうち 32 件が原産地名称（国内 23 件、海外 9 件）、73 件が原産地表示（全て国内）となっている。</p>			

日付	2022年11月1日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias%202022/nota-tecnica-sobre-termo-cachaca-em-indicacao-geografica			
タイトル	地理的表示における「カシャッサ」の用語に関するテクニカルノート			
要約	ブラジル産業財産庁 (INPI) は、2019年9月10日付 INPI/PR 省令第491号第14条に規定されるものの、商標・意匠及び地理的表示に関する審査手続き及び指針の改善に関する常設委員会 (CPAPD) の技術ノート 2022年付第2号を公表した。地理的表示の登録・修正申請書類における「カシャッサ」という用語の削除・置換の補正に関する同ノートは、INPI のポータルサイトにて参照可能。			

日付	2022年11月1日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias%202022/inscricoes-abertas-para-curso-sobre-pi-em-negocios-de-base-tecnologica			
タイトル	テクノロジーベースのビジネスにおける産業財産に関する講習の申込受付を開始			
要約	ブラジル産業財産庁 (INPI) アカデミーが提供する講習「テクノロジーベースのビジネスにおける産業財産の活用」の受講申込を 2022年11月4日まで受付している。講習は 2022年11月1日～30日に開講され、20時間のカリキュラムからなり、受講無料。完全オンライン方式の自己学習型講習であり、規定の活動を行ない、最終試験で必要点数を取得した受講者には、認定証が付与される。			

日付	2022年11月3日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サンパウロ市議会	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.saopaulo.sp.leg.br/blog/acoes-de-combate-ao-comercio-de-produtos-irregulares-sao-debatidas-em-reuniao-da-cpi-da-pirataria/			
タイトル	模倣品行為に関する議員調査委員会、非正規品の取引に対抗するための措置を議論			
要約	模倣品行為に関する議員調査委員会 (CPI) は 11月3日、サンパウロ市の監督機関の代表者らとの臨時会合を開き、市内の商業地区、特に市中心部の3月25日通り周辺地区において行なわれる模倣品や不正商品の販売への対策の結果について協議を行なった。不動産管理・利用調整課 (CONTRU)、計画・都市開発調整課 (CPDU)、サンパウロ市警 (GCM)、市保健局保健監督課 (SMS/Covisa) から幹部や技術職員、さらにセー区副区長も参加した。参加者らが模倣品対策の取組みとして挙げた活動の1つが、検察庁が実施した「3月25日地区安全作戦」であった。これは現地の建物の状況を点検することを目的としたもので、同地区の建物で発生した火災をきっかけに企画されたものだった。セー区のマルセロ・サレス副区長は「軍警と消防隊とともに、同地区の全ての建物に当たる211棟をすでに点検した」と述べた。その上で、「建物の安全性に重点を置いているので、消防署も一緒に活動する。しかし検査・点検を行なう際には、CONTRU とともに、建物のアクセシビリティ、リフト、消防署の立入り検査証 (AVCB) といった一連の他の要件も評価す			

ることができる。そして市役所は、営業許可を持っているか、許可申請がすでになされているか、AVCB を有しているか、消防署の営業許可証 (CLCB) を持っているか、その有効性はどうかなどの資料を調べる。その結果、多くの矛盾点や許認可不足が確認された」という。タスクフォースのデータによると、同地区の商業施設の 3 分の 2 が AVCB を保有していないという。また、模倣品行為への取締りの難しさについても言及された。CPDU のジョアン・カルロス・ルポ・フェラス監督官は、「3 月 25 日地区にあるこれらの商業施設では、模倣品に対する大規模な捜査が行われた」と述べ、その上で「捜査後のこれらの商業施設は、全て司法の管理下にある。商業施設 Shopping 25 はその 1 つであり、私もその司法プロセス番号を持っている。そのために、その商業施設の運営に関する行政監督は中断されている」と話した。

日付	2022 年 11 月 4 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/inpi-e-ompi-assinam-acordo-na-area-de-tecnologia-da-informacao			
タイトル	INPI、WIPO との情報技術分野における協定に調印			
要約	ブラジル産業財産庁 (INPI) のクラウジオ・ヴィラルー・フルタード長官と、世界的所有権機関 (WIPO) の夏目健一郎インフラ・プラットフォーム担当事務局長補は 11 月 3 日、情報技術分野での協力覚書に調印した。この協力には、WIPO による産業財産権管理、オンラインサービス、文書管理のためのコーポレーティブなシステムの提供、INPI のプロセスおよびワークフロー管理の改善プロジェクト、デジタル化及びデータ品質の改善プロジェクト、産業財産普及のためのデータ交換、産業財産データベースの作成などの活動が含まれている。また、IT 戦略に関するコンサルティング、IT 監査、管理、リソース、インフラに加え、INPI に導入された WIPO のシステムの最適化を目的とした技術支援、ソフトウェア更新、知識移転、トレーニングの提供なども合意内容の一部として含まれている。			

日付	2022 年 11 月 7 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/aberta-consulta-publica-sobre-2a-edicao-do-manual-de-desenhos-industriais			
タイトル	意匠マニュアル第 2 版に関するパブリックコメント募集を開始			
要約	ブラジル産業財産庁 (INPI) は 2022 年 11 月 7 日より、利用者からの提案を広く聞き入れることを目的とした「意匠マニュアル第 2 版」の草案へのパブリックコメントの募集を開始した。連邦官報 (DOU) に掲載された 2022 年付 INPI パブリックコメント第 2 号の規定では、同庁ウェブサイトのパブリックコメントのページからダウンロードできる入力フォームを用いて、電子メールによりコメントや提案を送ることができる。締切りは 2022 年 12 月 7 日。今回のパブリックコメントでは、同マニュアルの第 2 章 (意匠とみなされるもの)、第 4 章 (形式的審査)、第 5 章 (技術的審査) について、改版に際して技術的・概念的な変更が行われる予定であることが説明されている。またその他の変更点として、意匠登録手続の審査・管理のた			

	めの新システム（IPAS-DI）の導入に伴う、電子出願手続きに関するマニュアル上の対応が挙げられる。
--	--

日付	2022年11月8日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁（INPI）	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	http://revistas.inpi.gov.br/rpi/			
タイトル	産業財産官報第 2,705 号通告セクションの要旨			
要約	産業財産官報（RPI）第 2,705 号の通告セクションには、ブラジル産業財産庁（INPI）のアクションプラン 2022 における「戦略イニシアチブ 13：ハーグ協定の批准」に基づく、意匠マニュアルの草案に関する 2022 年 11 月 4 日付パブリックコメント第 2 号について公示された。			

日付	2022年11月8日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁（INPI）	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/inpi-concede-ig-para-pimenta-do-reino-do-espírito-santo			
タイトル	INPI、エスピリト・サント州産の黒コショウに地理的表示を付与			
要約	ブラジル産業財産庁（INPI）は、2022 年 11 月 8 日付産業財産官報（RPI）第 2,705 号にて、黒コショウの原産地表示（IP）として「Espírito Santo」を付与することを公示した。同原産地表示では、エスピリト・サント州内の 29 の市自治体はその地理的範囲として定められている。INPI に提出された資料によると、同州で黒コショウの栽培が始まったのは 1970 年で、ブラジル北部から苗木を持ち込んだのがきっかけだったという。年々栽培面積が拡大し、現在では州北部地域を中心にブラジル最大の黒胡椒の産地となっている。2020 年、エスピリト・サント産の黒コショウは、イタリア、ドイツ、ポルトガル、インド、そして世界最大の調味料生産国でありながらもその品質から再輸出のためにブラジルからの輸入を行なうベトナムなど、5 大陸・65 カ国で販売されている。今回の認可により、ブラジルでは 106 件の地理的表示が INPI に登録されており、そのうち 32 件が原産地名称（国内 23 件、海外 9 件）、74 件が原産地表示（全て国内）となっている。			

日付	2022年11月7日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト Correio Braziliense	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.correio braziliense.com.br/cidades-df/2022/11/5047418-saiba-como-identificar-uma-camisa-falsa-da-selecao-brasileira.html			
タイトル	模倣品のブラジル代表ユニフォームの見分け方を解説			

日付	2022年11月8日		
分野	特許関連	商標関連	意匠関連

	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.camara.leg.br/noticias/917745-ministerio-da-saude-descarta-desabastecimento-de-medicamento-para-tratamento-do-hiv			
タイトル	ブラジル保健省、HIV 治療薬の供給不足となる可能性を否定			
要約	<p>保健省の技術職員らは 11 月 8 日、連邦下院議会での公聴会にて、HIV/AIDS の治療に使用される抗ウイルス剤でブラジル製の医薬品 Dolutegravir (DTG) の供給不足は起こりえないと断言した。この公聴会は、ブラジルで同医薬品が不足するリスクがあるのかを明らかにするために招集されたもの。その背景には、ペルナンブコ州医薬品研究所 (Lafepe) から安価なジェネリック医薬品を購入することを連邦政府が妨げられていることによる。これがもし実現すれば公的財政にも節約をもたらすことになるものの、特許を保有する外資系製薬会社 ViiV healthcare/GSK 社は、後発品の政府調達を阻止するために司法の場に訴え出ており、2023 年中の Lafepe からの調達の見通しが立たなくなっている。同医薬品の特許の破棄に関しては、「薬に依存している患者がいる以上、製造の独占は正当化できない」という公聴会の参加者からの意見も聞かれた。ブラジル学際的エイズ協会 (Abia) の産業財産に関するワーキンググループのコーディネーターであるフェリペ・フォンセッカ氏は、常に特許は無料の治療プログラムに対する脅威であり続けてきたと指摘した。「製薬会社は保健省に高価な製品を購入させ、未だに毎年 1 万~1 万 2 千人が死亡しているブラジルの HIV/AIDS への対応力を弱めている」と批判した。国家保健評議員で、HIV/AIDS とともに生きる人々の全国ネットワーク代表のジャンジーラ・フェガーリ代表は、この特許を覆すために下院議会でする限りのことをすると述べた。その上で「私は委員会に対し、ブラジル産業財産庁 (INPI) へのヒアリング、進行中の法的プロセスの注視、現在そしてこれからの保健省と連携したこの購入問題の解決、統一保健システム (SUS) の救済、国内の製薬会社の強化、SUS を通じた全ての HIV 感染者への奉仕など、これらの必要性を訴えていくつもりだ」と話した。INPI は本公聴会に招待されたが、代理人を派遣しなかった。同庁は、2018 年に特許を無効と判断したが、その状態にもかかわらず 2020 年には特許を付与していた。</p>			

日付	2022 年 11 月 9 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト O Estado de São Paulo	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.estadao.com.br/economia/receita-apreende-mercadorias-irregulares-operacao-npre/			
タイトル	国税庁、2 日間の活動で 1 億 500 万リアル相当の違法品を押収			

日付	2022 年 11 月 11 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/inpi-e-finep-firmam-cooperacao-com-foco-na-comercializacao-de-ativos-de-pi			
タイトル	INPI、産業財産資産の商業化に焦点を当てた協力協定を Finep と締結			
要約	ブラジル産業財産庁 (INPI) のクラウジオ・ヴィラルー・フルタード長官と、研究事業貸付機関 (Finep) のワルデマー・バロソ・マグノ・ネット代表は、2022 年 11 月			

	<p>11 日、産業財産資産の商業化を促進するための協力協定を締結した。リオデジャネイロ市内の Finep 本部で行われた式典には、パウロ・アルヴィム科学技術・イノベーション大臣も出席。ブラジルにおけるイノベーションの活性化における INPI の重要性が指摘された。また同大臣は、ブラジル産業研究イノベーション公社 (Embrapii) とのパートナーシップで得られた成果に触れ、Finep との協定も重要な成果を残すだろうと述べた。INPI 長官は、産業財産を企業の戦略的ツールとして活用することの重要性について述べ、そのためには無形資本の価値を認識することが必要だと述べた。この協定を踏まえた、主要なアクションの 1 つがすでに開始されている。Finep は 6 月、産業財産の商業化に関する公募を開始した。同機関によると、継続的に行われるこの公募事業は、産業財産に基づくイノベティブな製品・プロセス・サービスの実現可能性をテストする企業に資金援助を行なうことを目的としたもので、総額 75 百万レアルの資金が拠出されるという。</p>
--	--

日付	2022 年 11 月 15 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	http://revistas.inpi.gov.br/rpi/			
タイトル	産業財産官報第 2,706 号通告セクションの要旨			
要約	産業財産官報 (RPI) 第 2,706 号の通告セクションには、eINPI システムで位置商標の出願に関連した申請を可能とする旨を規定する、2022 年付ブラジル産業財産庁 (INPI) 省令第 71 号が公示された。			

日付	2022 年 11 月 16 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/inpi-inicia-recepcao-e-processamento-dos-pedidos-de-registro-para-marca-de-posicao			
タイトル	INPI、位置商標の出願の受付・処理を開始			
要約	ブラジル産業財産庁 (INPI) において、位置商標の登録出願が可能となった。INPI は、位置商標出願用の申請フォームを設けた他、出願を受理・処理するシステムの更新を行なった。これにより、ブラジルにおける位置商標の出願に必要な手続きを処理するための業務への対応を完了させた。今回の措置により、商標・意匠・地理的表示局は、2022 年付 INPI PR 省令第 8 号第 95 条に規定されるものの、既に申請が行なわれ処理システムの更新待ちとなっていた出願を処理することができるようになる。また、位置商標の情報化処理は、INPI のアクションプラン 2022 にある戦略的イニシアティブ 7 を達成するものとなっている。			

日付	2022 年 11 月 16 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/inscricoes-abertas-para-curso-sobre-registro-de-software			

タイトル	ソフトウェア登録に関する講習の受付を開始
要約	ブラジル産業財産庁（INPI）産業財産・イノベーション・開発アカデミーが開催する講習会「ソフトウェア登録：登録方法とその必要な理由」の受講申込受付が開始された。同講習会は、2022年11月21～25日に開催される。受講無料、完全オンラインで提供される自己学習型プログラムで、カリキュラムは8時間からなる。所定の活動を完了し、最終試験で必要最低限の得点を獲得した受講者には、認定証を授与する。

日付	2022年11月16日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁（INPI）	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/inpi-e-cgee-realizarao-mesa-de-dialogo-sobre-patentes-verdes			
タイトル	INPI、グリーン特許に関する対話のテーブルを戦略研究経営センターと推進			
要約	ブラジル産業財産庁（INPI）と戦略研究経営センター（CGEE）は、対話パネル「ラテンアメリカ・カリブ地域におけるグリーン・トランジションに有利な特許と公共政策」を、11月22日午前9時より、Zoomプラットフォームを通じて開催する。この取組みは、ラテンアメリカ・イノベーション機関ネットワーク（RIALI）の支援を受けて行なわれるもの。この会合は、グリーン特許に関連するテーマについて、ラテンアメリカとカリブ海諸国の機関間で対話を促進し、知識・経験・アイデアを共有することを目的としている。INPIの国際関係コーディネーター部の産業財産権研究員であるフェルナンド・カシビ氏、世界的所有権機関（WIPO）の実施するWIPO グリーンのシニアプログラムディレクターであるピーター・オクセン氏、米州開発銀行（IDB）の競争力・イノベーション部門のエコノミストであるマテオ・グラッツィ氏、チリ技術監視ユニット（Inapi - Chile）のコーディネーターであるパス・オゾーリオ氏、多国間経済交渉国家局（MRECIC）の諮問委員であるジュリア・ホプストック氏、ブラジリアのラテンアメリカ・カリブ地域経済委員会（Cepal）のオフィスディレクターであるカルロス・ムッシ氏らが参加する。			

日付	2022年11月17日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サンパウロ市議会	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.saopaulo.sp.leg.br/blog/plataformas-on-line-que-vendem-suplementos-alimentares-serao-investigadas-pela-cpi-da-pirataria/			
タイトル	模倣品行為に関する議員調査委員会、サプリメントを販売するオンラインプラットフォームを調査			
要約	模倣品行為に関する議員調査委員会（CPI）は11月16日、サンパウロ市役所のファビオ・レピケ執行局長と Integralmédica 社のグスタボ・コスタ サプリメント研究開発部長を迎えて聴取を行なった。市議会議員らによると、このような製品で、かつ原産地の表示のない製品が複数のオンラインプラットフォームで販売されている疑いがあるため、調査には同社のようなサプリメント食品会社の協力は不可欠であったという。グスタボ・コスタ氏は、販売されているサプリメントがオリジナルかどうかを識別することは可能であると述べた。その上で、改変されたサプリメント食品が摘発されるケースの増加が増加しており、今年は60～80%程度増加したと述べた。			

うと指摘した。同社の法務担当者であるアレックス・シルバ氏は、「これらの製品の模倣品は、我が社にとって以前からの懸念事項である」と説明。同社はShopee、Mercado Livre、OLXなどのオンラインプラットフォームで販売されている違法品を長年にわたって報告しているとし、その上で「我々は、我が社のブランドを冠した製品の提供元をぜひとも知りたいと思っている」と話した。同CPIは、Integralmédica社の代表者らが証言を行なう間に、出所の調査と製品比較を目的として、Mercado Livreにて複数のサプリメントを購入した。同CPIのカミーロ・クリストーフアロ議長（AVANTE党）とアジウソン・アマデウ副委員長（UNIÃO党）は、購入した製品について科学警察による技術報告を要請した。カミーロ・クリストーフアロ委員長は、「オリジナルの商品とプラットフォームで購入した商品は価格が異なる」と指摘。その上で「今回評価した製品が180～350レアルで販売されているのに対し、プラットフォームでは35レアルであった。つまり、消費者は毒を消費していると言える」と話した。サンパウロ市役所のファビオ・レピケ執行局長は、同氏の模倣品対策について尋ねられると、「当局では基本的に、衣類、靴、ハンドバッグ、電子タバコなど、価格の高い商品の押収に重点を置いている」と説明した。

日付	2022年11月17日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト CNN Brasil	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.cnnbrasil.com.br/business/pirataria-triplicou-prejuizos-a-economia-brasileira-em-7-anos-mostra-pesquisa/			
タイトル	模倣品行為によるブラジル経済の損失は7年間で3倍にの調査結果を発表			

日付	2022年11月18日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト Consultor Jurídico	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.conjur.com.br/2022-nov-18/lei-busca-compensar-atraso-patentes-atrair-investimentos			
タイトル	特許の滞留を補い、ブラジルに投資を呼び込むための法律			

日付	2022年11月21日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/uniao-europeia-lanca-projeto-de-incentivo-ao-crescimento-sustentavel-com-gestao-da-pi			
タイトル	EU、産業財産管理による持続可能な成長を促進するプロジェクトを開始			
要約	メルコスール諸国（アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ）及びチリを中心とした中南米経済における産業財産権の効率的な管理を実現し、持続的な成長を促すことを目的として欧州連合（EU）からの資金提供を受ける、「AL-INVEST Green Intellectual Property Rights (IPR)」プロジェクトの発足式が、ウルグアイのモンテビデオにて11月21日に行われた。AL-INVEST Green IPRのリーダーであり、欧			

州産業財産庁（EUIPO）代表のマリアーノ・リチェリ氏は、ラテンアメリカやヨーロッパの産業財産庁によって、持続可能な経済への移行にはイノベーションが重要であると認識されていると説明した。同氏によると、プロジェクトは 2024 年まで実施され、当初はメルコスール諸国での展開を想定し、近い将来にはアンデス地域の他国も取り込んで拡大することを目指しているという。その上で、この事業の目的として同氏は、ラテンアメリカの中小企業における効率的で気候にやさしい技術の使用とデジタル化・イノベーションの推進、貿易協定に則った基準の適用に向けた政治対話の推進、そして産業財産関連では産業財産権の利用を拡大・改善し、持続的イノベーションの分野における協力機会を促進し競争力を刺激することの 3 つを挙げた。同イベントには、ブラジル産業財産庁（INPI）のイノベーション普及コーディネーターのヴィニシウス・ボジェーア・カマラ氏も参加。同氏は、どの時代にもそれぞれの課題があること、そして現在は新しい運営モデルへの移行が必要とされ、その目標を達成するためには 3 つの課題があるとした。「私はいつも『ユーザーが何を求めているのか』という問いを持ちたいと思っている。彼らが求めているのはシンプルな制度であり、特に商標においては、それは迅速な審査結果と統一された判断であると確信している。これら 3 つの初期課題は INPI がすでに克服している。むしろ現在の課題は、産業財産の出願需要をいかに高めるかにある」と話した。そして、INPI が年間約 41 万 5 千件の商標出願と 3 万 3 千件の特許出願を受け付けており、年間 5 万人の育成も行なっていると説明。それと同時に、利用者に制度をより知ってもらい、一層活用してもらうことも必要であるとした。

日付	2022 年 11 月 22 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁（INPI）	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/inpi-reconhece-regiao-de-garca-como-indicacao-geografica-para-cafe			
タイトル	INPI、サンパウロ州ガルサ地方のコーヒーを地理的表示として認定			
要約	2022 年 11 月 22 日付の産業財産官報（RPI）第 2,707 号にて、アラビカ種のコーヒーの生豆、焙煎豆、焙煎挽き豆の原産地表示（IP）としての「Região de Garça」（ガルサ地域）の地理的表示の付与が公示された。同地理的表示の対象地域は、サンパウロ州の中西部に位置する 15 の市町村にまたがっている。ブラジル産業財産庁（INPI）に提出された資料によると、同地方はサンパウロ州で最大のコーヒー生産地の 1 つであるとされる。その発展の歴史は、この地域で 400 件以上の農家が行っていたコーヒー栽培と密接に関係している。同地方を構成する市町村は、コーヒー市場において歴史・伝統・文化を共有しているのに加え、マリーア高原とアグドス山脈に挟まれた標高 600m 以上の土地で、かつ気温も 17.8～28.5 度の範囲という地理的条件も共通する。同地方には、100 年以上に及ぶコーヒー栽培の歴史がある。20 世紀には、コーヒー生産はサンパウロ州の複数の自治体の発展に貢献し、その結果として同地域内、特にノロエステ鉄道とパウリスタ鉄道会社の路線の延伸につながった。今回の付与により、ブラジルでは 107 の地理的表示が INPI に登録され、そのうち 32 件が原産地名称（国内 23 件、海外 9 件）、75 件が原産地表示（全て国内）となっている。			

日付	2022 年 11 月 22 日		
分野	特許関連	商標関連	意匠関連

	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	http://revistas.inpi.gov.br/rpi/			
タイトル	産業財産官報第 2,707 号通告セクションの要旨			
要約	産業財産官報 (RPI) 第 2,707 号の通告セクションには、承認された申請手数料の払戻しプロセスの一覧が公示された。			

日付	2022 年 11 月 23 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト Startupi	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://startupi.com.br/propriedade-intelectual/			
タイトル	我々の日常生活の中に想像以上に存在する産業財産			

日付	2022 年 11 月 25 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/webinar-marcas-esclarecera-duvidas-sobre-como-registrar-marca-no-exterior			
タイトル	商標に関するウェビナーにて、海外における商標登録についての疑問点を解消			
要約	<p>ブラジル産業財産庁 (INPI) とブラジル貿易投資振興庁 (ApexBrasil) が共催する商標に関するウェビナーを、11 月 29 日午後 4 時より開催する。同セミナーは、国際的な商標登録手続きに関する企業家らの疑問を解消し、マドリッド・プロトコルがもたらす実用性と、INPI のプログラムが提供するメリットを紹介することを目的としている。参加無料。無形資産の保護は、ブラジル国外でのビジネス展開を目指す起業家を含め、あらゆる規模の起業家にとっての関心事であるべきテーマである。マドリッド・プロトコルの発効により、2019 年以降、ブラジルの商標の国際化はより簡易に、低コストで行えるようになった。本ウェビナーでは、INPI の商標審査担当専門家であるエレナ・ブラーガ博士が、同制度で提供される機能を紹介する。また、国内の産業財産資産の創出と競争力としての活用の促進を目的としたプログラム「INPI Negócios」の紹介も行なわれる。20 年以上にわたり INPI で研究員を務めるハファエラ・ゲハンテ氏が、INPI Negócios プログラムを通じた企業・イノベーション機関・大学などのブラジル国内居住者による産業財産資産の保護を強化するための取組みの最新動向を紹介する。</p>			

日付	2022 年 11 月 29 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.gov.br/inpi/pt-br/central-de-conteudo/noticias/espumantes-de-altos-de-pinto-bandeira-rs-recebem-denominacao-de-origem			
タイトル	アウトス・デ・ピント・バンデイラのスパークリングワインに原産地名称を付与			
要約	2022 年 11 月 29 日付産業財産官報 (RPI) 第 2,708 号にて、アウトス・デ・ピント・バンデイラ地方のナチュラル・スパークリングワインに対して、原産地名称			

	<p>(DO)としての地理的表示「Altos de Pinto Bandeira」の付与が公示された。リオグランデドスル州ピント・バンデイラ、ファハウピーリャ、ベント・ゴンサウヴェスの各市自治体にまたがる合計 65km²のエリアが対象地域となる。INPI に提出された資料によると、同地域で生産されるスパークリングワインの特徴や品質と、地理的環境の要素には関連があるとされる。対象地域の平均標高は 632m で、起伏のある地形から山地が広がっている。リオ・ダス・アンタス溪谷の左岸に位置し、ガウチャ山地の玄武岩台地の頂きの 1 つにあるため空気の水平循環がよく、気温も温暖で、日射量に恵まれている。スパークリングワインに使用されるこの地域の気候や土壌に適したブドウ品種は、シャルドネ、ピノ・ノワール、リースリング・イタリコなど。これらの「気候」「土壌」「ブドウ」の相互作用により、同地域で生産されるブドウは、ナチュラル・スパークリングワイン用のベースワインを精製するのに適した特性を備える。ブドウを適度に熟成させ、糖分と有機酸、そして芳香前のボディのバランスが調整され、その結果として、色・香り・味・構造の特性や品質が、その地理的環境によって本質的に決定されるとされる。今回の認可により、ブラジルには 108 件の地理的表示が登録され、うち 33 件が原産地名称（国内 24 件、国外 9 件）、75 件が原産地名称（全て国内）となっている。</p>
--	--

日付	2022 年 11 月 29 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル産業財産庁 (INPI)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	http://revistas.inpi.gov.br/rpi/			
タイトル	産業財産官報第 2,708 号通告セクションの要旨			
要約	産業財産官報 (RPI) 第 2,708 号の通告セクションには、ミナスジェライス州ベロオリゾンテ地域普及事務所 (EDIR/MG)、並びにペルナンブッコ州レシフェ、セルジッペ州アラカジュ、パライーバ州カンピーナ・グランジ、バイーア州サルバドールの各地域普及課 (SEDIR/PE、SEDIR/SE、SEDIR/PB、SEDIR/BA) について、地方祝日より 12 月 8 日の営業を取りやめる旨が公示された。			

日付	2022 年 11 月 29 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	ブラジル農業連盟 (CNA)	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://cnabrasil.org.br/noticias/3o-encontro-de-produtores-fps-sera-dia-1o-de-dezembro-em-cuiaba			
タイトル	第 3 回持続可能なパンタナル農場生産者会合を 12 月 1 日にクイアバで開催			

日付	2022 年 11 月 30 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	連邦下院議会	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.camara.leg.br/noticias/923840-comissao-aprova-texto-de-acordo-de-protexcao-de-indicacoes-geograficas-no-mercosul/			
タイトル	下院委員会、メルコスールにおける地理的表示の保護に関する協定の文面を承認			
要約	連邦下院議会の経済開発・産業・貿易・サービス委員会は、メルコスール加盟国			

(ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ) が締結した原産地地理的表示の保護を目的とした協定の文面を承認した。同協定は 2019 年に締結されたもの。この協定では、メルコスールの主要執行機関である共同市場グループ (GMC) が承認した決議に含まれる各国の地理的表示を相互に尊重することを定めている。この協定のポイントの 1 つは、同じ製品やサービスに対して 2 つ以上の地理的表示が共存する可能性が認められている点にある。また、域外の他国の地理的表示と類似するものが共存することも可能となる。この協定では、GMC の決議以前に出願された場合を除いて、各国の法制度の範疇で認識された地理的表示を、類似の製品やサービスの商標として登録できないことも定めている。また、地理的表示を含む商標は、その使用が不正競争行為に当たる場合や消費者に誤解を与える場合には登録されない。同協定はメルコスール議会ブラジル代表による 2022 年付議会令法案 (PDL) 第 165 号で規定されており、同法案は今後、外交・防衛委員会、憲法・司法・市民権委員会で審議された後、本会議での採択へと進む見込み。

日付	2022 年 11 月 30 日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト EBC	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://agenciabrasil.ebc.com.br/geral/noticia/2022-11/pirataria-de-livros-e-alvo-de-operacao-em-quatro-estados			
タイトル	書籍の海賊版が 4 つの州で捜査対象に			

ブラジル知的財産ニュース (月報) はブラジルの知的財産に関する最新状況を日本の皆様にお伝えするため無料でお配りしています。なお、新聞社等の著作権に触れるおそれがありますので、公的機関以外の記事等の要約は掲載していません。予めご了承ください。

ご意見・ご質問・ご感想がございましたら、下記までご連絡下さい。

(独)日本貿易振興機構 (JETRO) サンパウロ事務所 知的財産権部

Alameda Santos, 771 Primeiro Andar, Jardim Paulista, CEP 01419-001, São Paulo -SP, BRASIL

TEL: +55-11-3141-0788, FAX: +55-11-3253-3351

E-MAIL: SAO_ipr@jetro. go. jp

発行人: JETRO サンパウロ事務所 知的財産権部 (特許庁委託事業)

免責事項: 要約結果は出典原文の意図から相違が生じ得ます。JETRO はご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行ってください。本文を通じて皆様に提供した情報により不利益を被る事態が生じたとしても、JETRO はその責任を負いません。